

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/06/16

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.60	-0.10
JPY/THB	0.2466	-0.0010
USD/JPY	140.29	0.20
EUR/THB	37.87	0.26
EUR/USD	1.0945	0.0115
USD/CNH	7.120	-0.054
SGD/THB	25.89	0.02
AUD/THB	23.81	0.22
USD/INR	82.18	0.08
USD Index	102.12	-0.83

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.333	0.035
10Y (THB)	2.624	0.042
5Y (USD)	3.910	-0.079
10Y (USD)	3.717	-0.070

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,957.8	2.5
WTI (Oil)	70.62	2.35
Copper	8,558.0	49.0

Stock

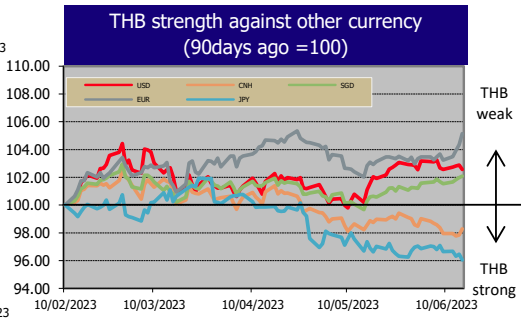
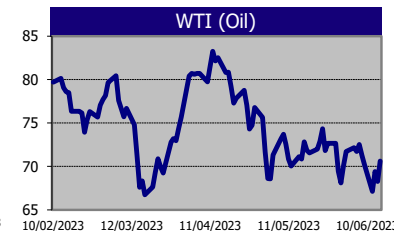
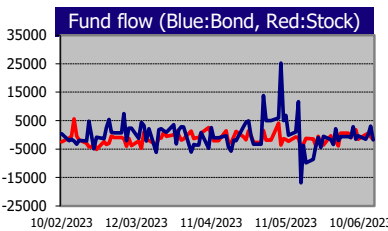
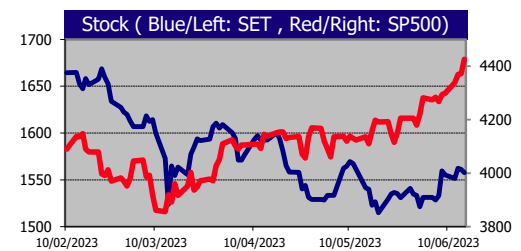
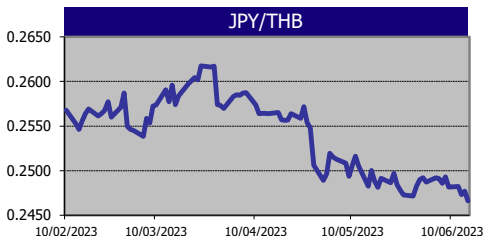
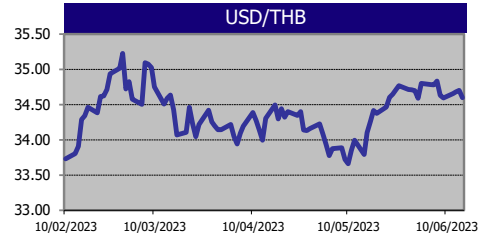
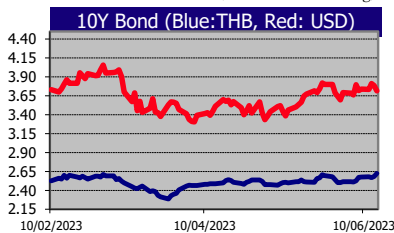
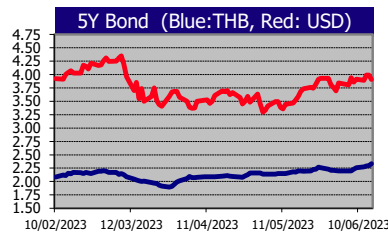
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,557.71	-3.44
NIKKEI (JP)	33,485.49	-16.93
DOW (US)	34,408.06	428.73
S&P500 (US)	4,425.84	53.25
SHCOMP (CN)	3,252.98	23.99
DAX(GER)	16,290.12	-20.67

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,613)	-854.1
Bond net flow	(1,797)	-4819.4

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルバーツ

●昨日のドルバーツは小幅に下落。34/パーツ半ば付近で取引を開始。前日のFOMCにてタカ派なスタンスが示され、アジア通貨が全般的にドルに対し軟調な推移となり、加えて中国では1年物MLF金利の0.1%引き下げが伝わる中、ドル人民元が年初来安値を更新すると、ドルバーツも連れて34/パーツ台後半まで上昇。以降、しばらく同水準での推移が継続した。そのまま海外時間に入り、ECBが0.25%の利上げを決定するとともに、ラガルド総裁が記者会見にてタカ派な姿勢を示したことから対ドルでユーロ買いが進行。また、NY朝方に発表された米国指標において新規失業保険申請件数、5月鉱工業生産が軟調な結果となったことからドル売りを加速させ、ドルバーツは34/パーツ台半ばまで急落。結局34.60とオープン対比小幅なパーツ高水準で引けた。

●ドル円その他

●昨日のドル円は小幅に上昇。139円台後半で取引を開始。前日のFOMCを経て日米金融政策の違いが意識される中、米金利の上昇も相俟ってドル円は序盤から上昇基調となり、一時141円台半ば付近を付けた。同水準で上昇が一服すると海外時間に発表された米経済指標の軟調な結果を受けてドル売りが進行。ドル円は140円台前半まで値を戻し、その後も米金利が軟調な推移を見せる中、上値の重い推移が続き、140.29レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

今週は、日米欧主要各国の金融政策決定会合が集中している。米6月FOMCでは全会一致で金利据え置きが決定されたが、昨日、ECBは市場予想通り25bpの利上げにより政策金利を3.50%とした。加えて、ラガルド総裁は、ユーロ圏のインフレ率が「高過ぎる状態が長引き過ぎている」とし、7月の追加利上げについて「公算が極めて大きい」と発言、一層タカ派色が強まった。これを受けて次々9月会合での利上げ観測も高まっており、今後も注視が必要な状況。一方、本日は、日銀金融政策決定会合が予定されている。現行の金融政策の継続が見込まれるが、日銀のハト派スタンスが長引けば、円の下落が加速する可能性がある。市場調査では、次回7月会合におけるYCC政策の見直しは35%程度となっているが、後ずれる可能性もあり、日銀がどの程度ハト派スタンスかについても注視する必要がある。(前川)